

映画は観くらべるともっと面白くなる 2作品を同時にミクラべる映画上映会

バロー文化ホール

TAJIMI CITY CULTURAL HALL PRESENTS

ミクラベシネマ

4/26 (土) 小ホール 全席自由 (各回250席)

10:00 るろうに剣心 (2012年/本編134分)

13:30 るろうに剣心 最終章 The Beginning (2020年/本編137分) ※開場は各上映の30分前



©和月伸宏/集英社 ©2012 「るろうに剣心」製作委員会



©和月伸宏/集英社 ©2020 映画「るろうに剣心最終章The Beginning」製作委員会



入場料 単独券 1,000円 (1作品) ペア券 1,500円 (1作品) 2作品通し券 1,500円

7:00~ チケットONLINE 9:00~ 電話予約
※初日はお1人様4枚まで。初日の窓口販売はおこないません。

お問合せ **バロー文化ホール** (多治見市文化会館)

☎ 0572-23-2600

〒507-0039 多治見市十九田町2-8
9:00~21:30 火曜休館・祝日を除く

バロー文化ホール



剣心の軌跡を辿る、原点と最終章の熱き饗宴！

ミクラベシネマ第3弾は、和月伸宏の名作を実写化し、日本映画の新たな金字塔を打ち立てた「るろうに剣心」シリーズ。その記念すべき第1作目『るろうに剣心』（2012）とシリーズ完結編『るろうに剣心 最終章 The Beginning』（2020）の2作品をミクラベます。

第1作目は、伝説の剣士・緋村剣心が〈不殺（ころさず）の誓い〉を胸に新時代を生きる姿を描き、圧巻のアクションや心温まる人間ドラマが魅力です。一方で第5作目となる最終章は、剣心の頬の十字傷に秘められた過去と“人斬り抜刀斎”としての過酷な運命を描いたシリーズの原点とも言える物語。アクションだけでなく、剣心の内面に迫る深いドラマが見どころです。

2作品を通じて、剣心の変化や成長を追体験し、シリーズの壮大なテーマや見事な殺陣シーン、そして時代の空気感を存分に楽しめます。初めて見る方もファンも楽しめる、心震えるミクラベ体験は必見です。

るろうに剣心

新たな伝説の始まり！ 究極の剣客アクション・エンターテイメント

今から約140年前——動乱の幕末。
最強の暗殺者と恐れられ、〈人斬り抜刀斎〉と呼ばれた男がいた。
神より速く、修羅より強い、維新の志士。
一対多数の戦いを得意とし、剣を抜いたら最後、生き残る者はいない。
戦いが終わり、明治という新しい時代が訪れ、抜刀斎は姿を消した。「最強」の伝説だけを残して——。
あれから10年、いまだ乱れた世に現れた、ひとりの男。
斬れない刀＝逆刃刀で人を助ける、流浪人・緋村剣心。
もう決して人は殺さない〈不殺（ころさず）の誓い〉を立てた抜刀斎だった。
大切な人たちが平和に暮らせる時代を作るため、いま剣心の真の戦いが始まる——！
(2012年/本編134分)

るろうに剣心 最終章 The Beginning

シリーズ最高傑作、誕生。これで終わる。ここから始まる。

動乱の幕末。緋村剣心は、倒幕派・長州藩のリーダー桂小五郎のもと暗殺者として暗躍。血も涙もない最強の人斬り・緋村抜刀斎（ひむらばっとうさい）と恐れられていた。ある夜、緋村は助けた若い女・雪代巴（ゆきしろともえ）に人斬りの現場を見られ、口封じのため側に置くことに。その後、幕府の追手から逃れるため巴とともに農村へと身を隠すが、そこで、人を斬ることの正義に迷い、本当の幸せを見出していく。しかし、ある日突然、巴は姿を消してしまうのだった…。〈十字傷〉に秘められた真実がついに明らかになる——。
(2020年/本編137分)